

藤沢市下水道事業（管路施設）における ウォーターP P P導入に向けた マーケットサウンディング結果



藤沢市下水道マスコットキャラクター
「ふじまる」

藤沢市 道路下水道部



目 次

1. アンケートの実施について
2. アンケート結果
3. アンケートの質問・意見等への回答
4. 最後に



アンケートの実施について

概要

藤沢市では現在、ウォーターPPPの導入検討を進めております。
下水道管路施設を対象としたウォーターPPPレベル3.5の導入に向け、民間事業者の皆さまの参入意向や事業内容などに対するご意見を把握することを目的として、説明会方式によるマーケットサウンディングを開催し、これに基づくアンケート調査を実施いたしました。

実施期間

説明会：令和7年10月21日（火）14:00～16:30
アンケート調査：令和7年10月21日（火）～令和7年11月14日（金）

参加者

説明会参加：41団体
アンケート調査回答：18団体
回答率＝アンケート調査回答数／説明会参加者数＝18社／41社＝44.0%

集計方法

各設問の集計数は【回答数／回答会社数】で表記しております。
本アンケートは分岐設問も含むため、設問によって回答会社数が異なります。
（例：設問A-1【18/18社回答】⇒（分岐設問）設問A-2【9/9社回答】）
また、複数回答可の設問では、1社で複数の回答を選択した場合に、回答数が回答会社数を上回る場合があります。（例：【11/9社回答】）



アンケートの実施について

回答 企業属性

<所在地別>

- ◆ 市内（法人住所が藤沢市） 4社
- ◆ 準市内（藤沢市内に営業所あり） 3社
- ◆ 県内（法人住所が神奈川県内） 1社
- ◆ 県外（法人住所が神奈川県外） 10社

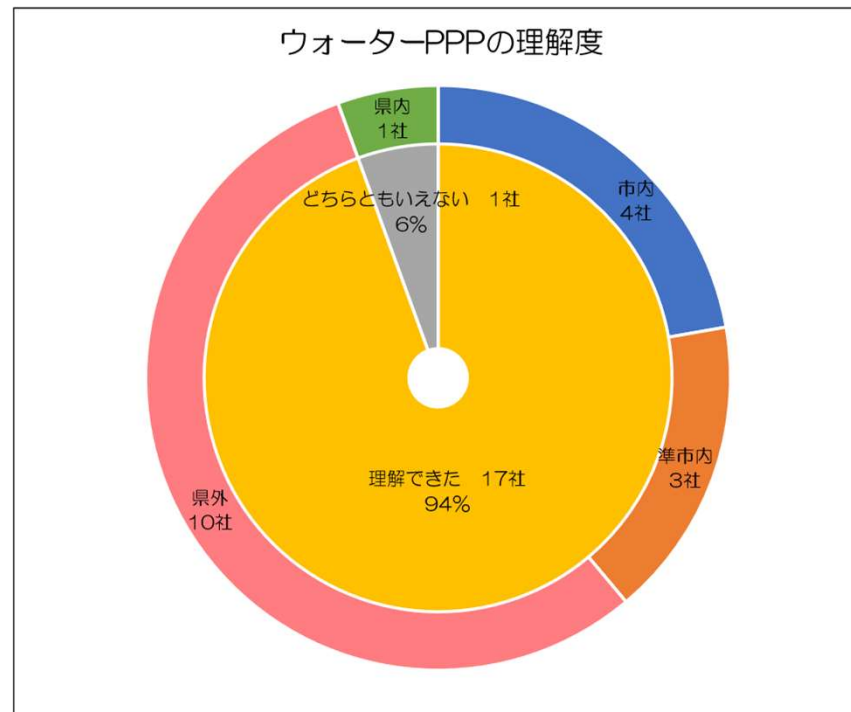
<業種別>

- ◆ 維持管理 3社
 - ◆ 工事 4社
 - ◆ マンホールポンプ運転管理・保守点検 2社
 - ◆ コンサル・設計 4社
 - ◆ メーカー 1社
 - ◆ その他 4社
- ※「維持管理」の団体の内、「工事」も含む団体は2社



アンケート回答

ウォーターPPPの理解度



【18/18社の回答】

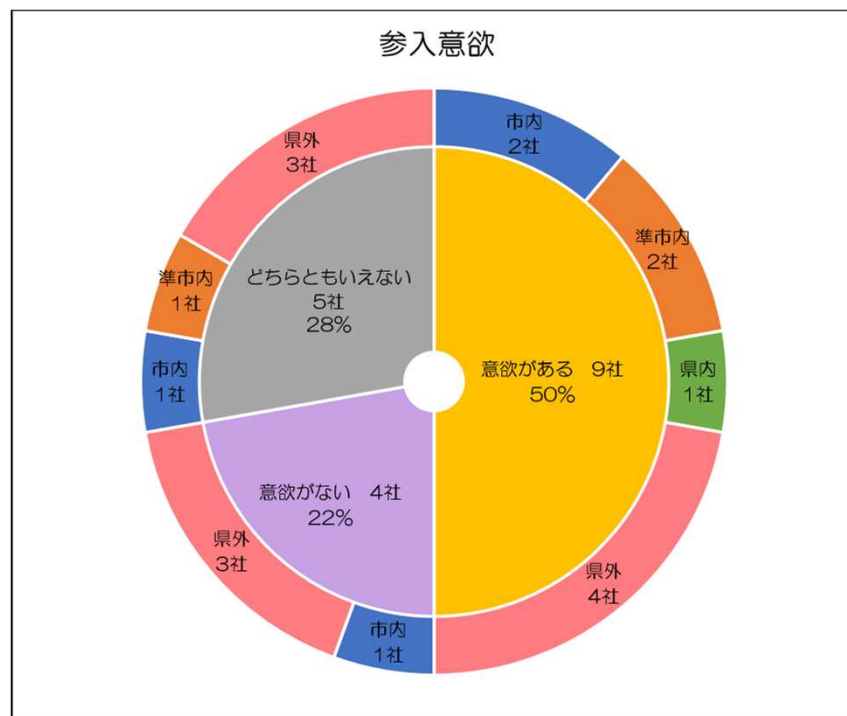
【結果】

ウォーターPPPの理解度については、17/18社（94％）から「理解できた」と回答があった。
また、1/18社（6％）からは「どちらともいえない」と回答があった。
「理解できなかった」と回答した企業はなかった。



アンケート回答

参入意欲



【18/18社の回答】

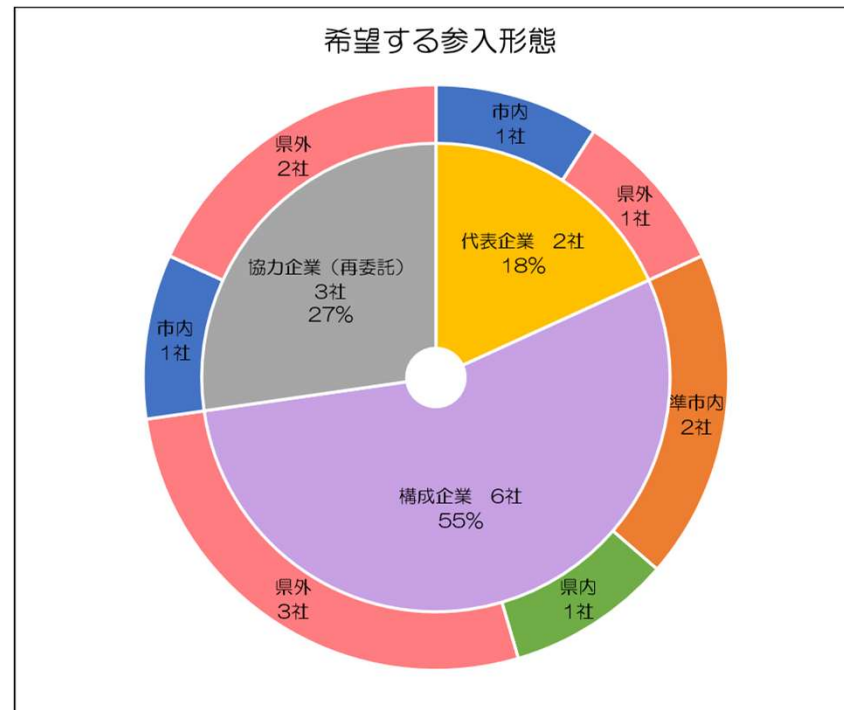
【結果】

参入意欲については、9/18社（50%）から「意欲がある」と回答があった。
また、5/18社（28%）からは「どちらともいえない」と回答があり、4/18社（22%）からは「意欲がない」と回答があった。



アンケート回答

希望する参入形態



※複数回答の場合も、
それぞれに計上した

【11/9社の回答】

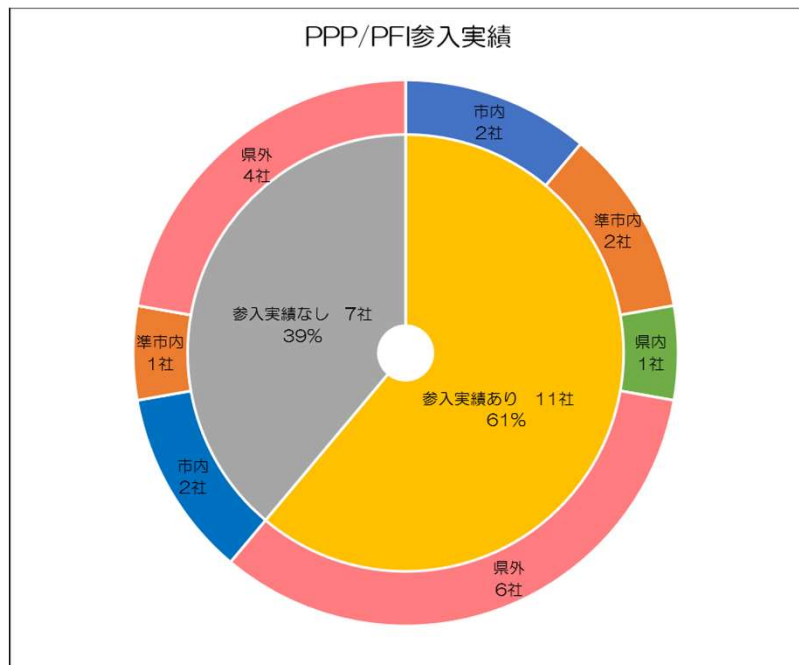
【結果】

希望する参入形態については、6/11回答（55%）から「構成企業」と回答があり、3/11回答（27%）から「協力企業」と回答があり、2/11回答（18%）から「代表企業」と回答があった。



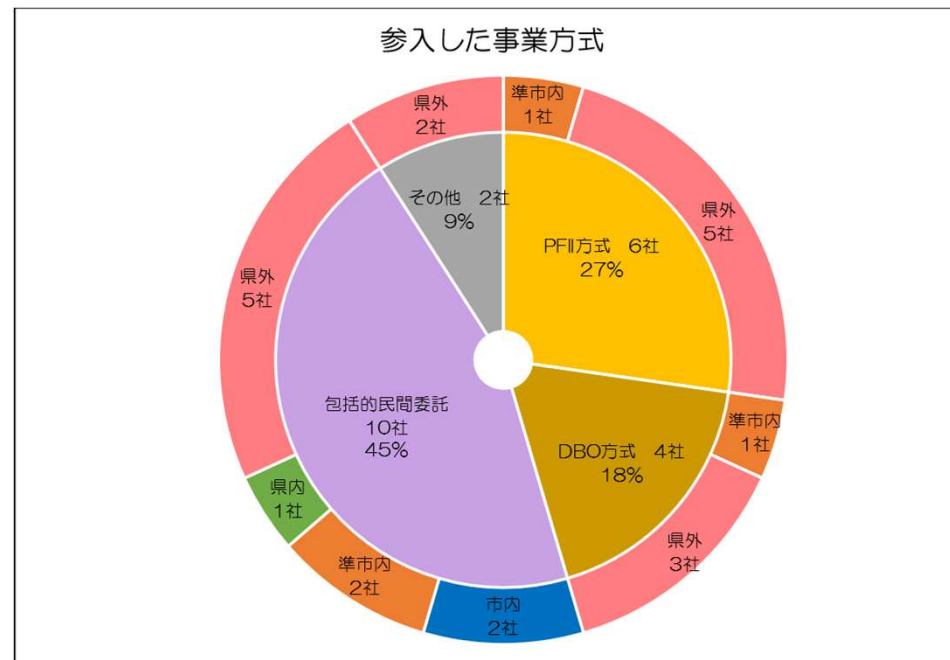
アンケート回答

PPP/PFI実績



【18/18社の回答】

※複数回答の場合も、それぞれに計上した



【22/11社の回答】

【結果】

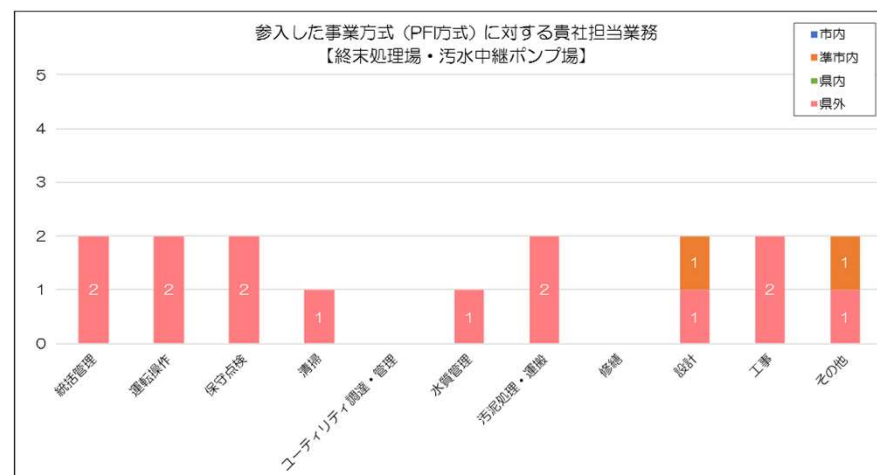
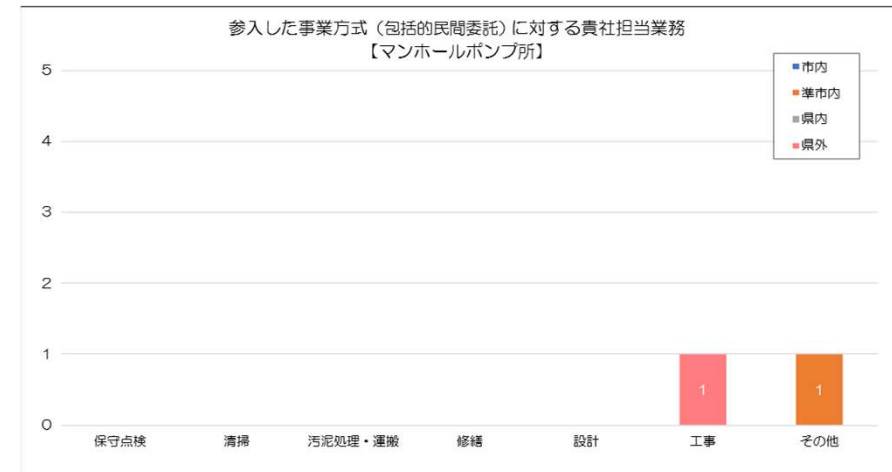
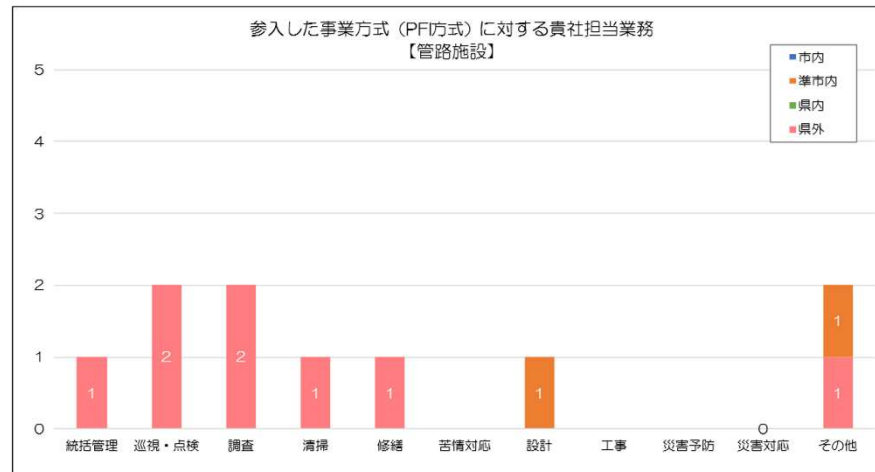
PPP/PFI参入実績については、11/18社（61％） から「参入実績あり」と回答があり、7/18社（39％）から「参入実績なし」と回答があった。

参入した事業方式については、10/22回答（45％）から「包括的民間委託」と回答があり、6/22回答（27％）から「PFI方式」と回答があり、4/22回答（9％）から「DBO方式」と回答があり、2/22回答から「その他」と回答があった。



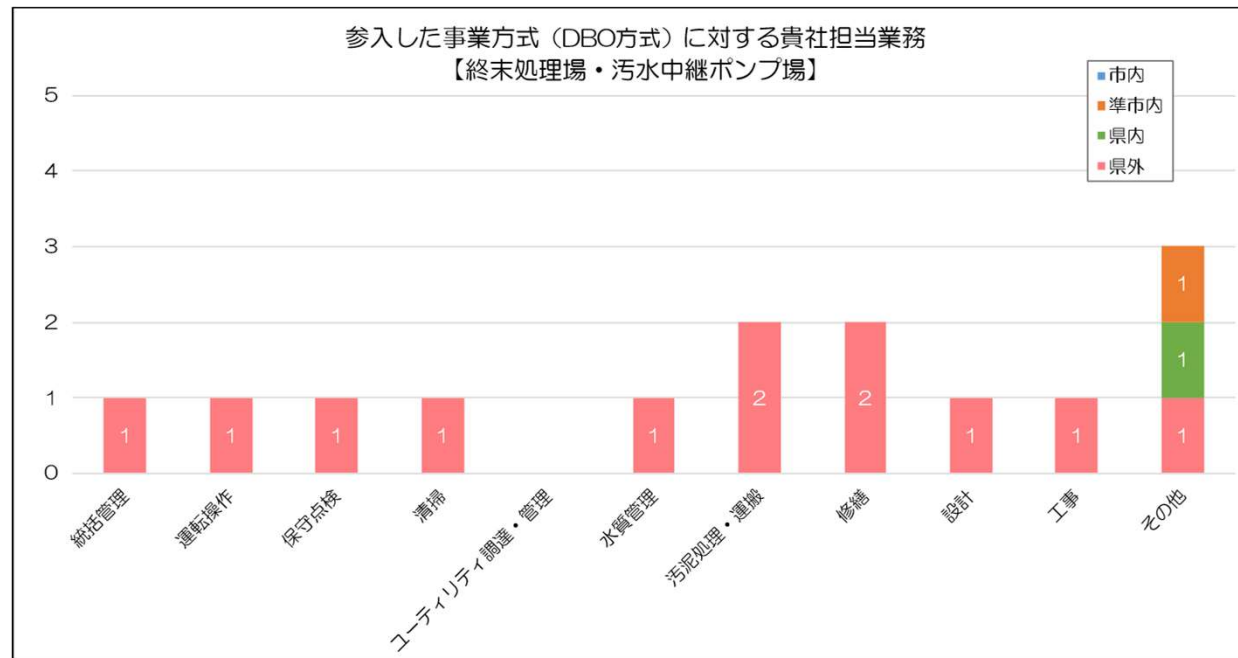
アンケート回答

参入した事業方式（PFI方式）に対する貴社担当業務



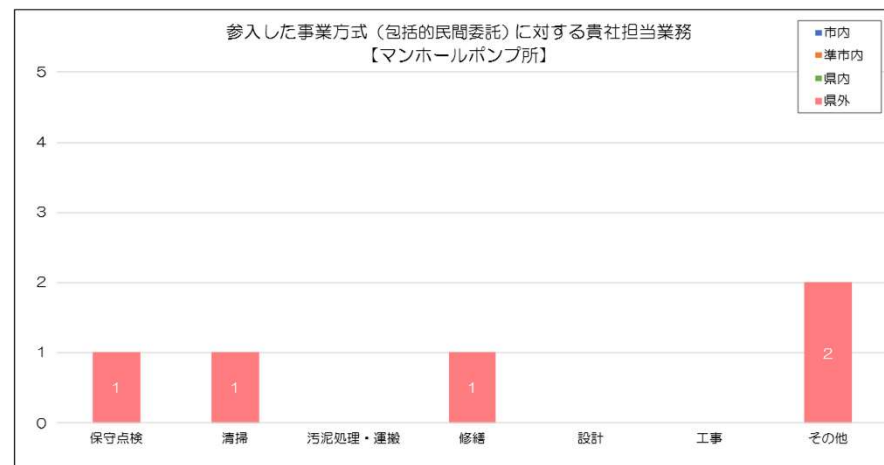
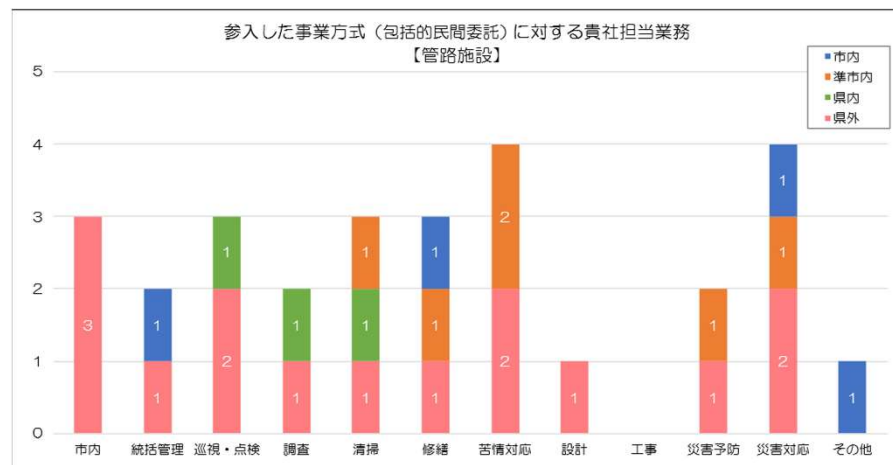
アンケート回答

参入した事業方式（DBO方式）に対する貴社担当業務



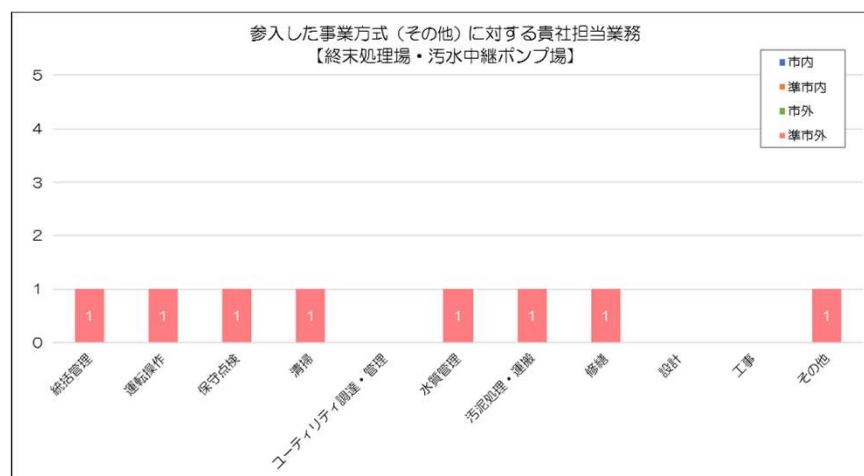
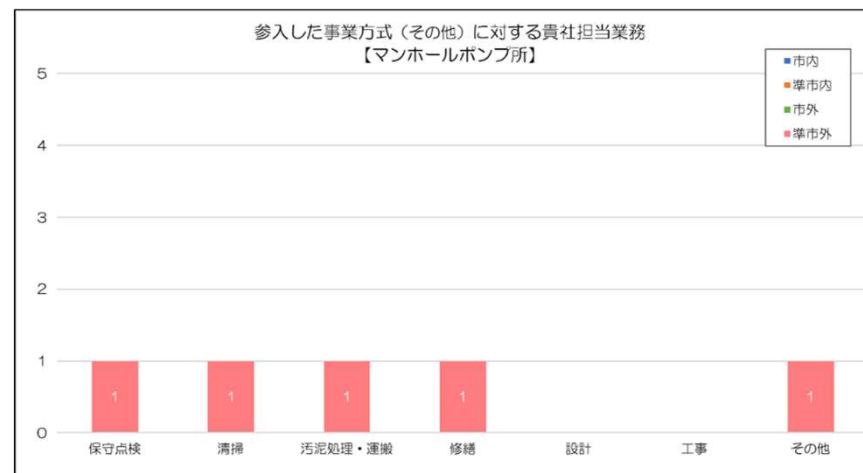
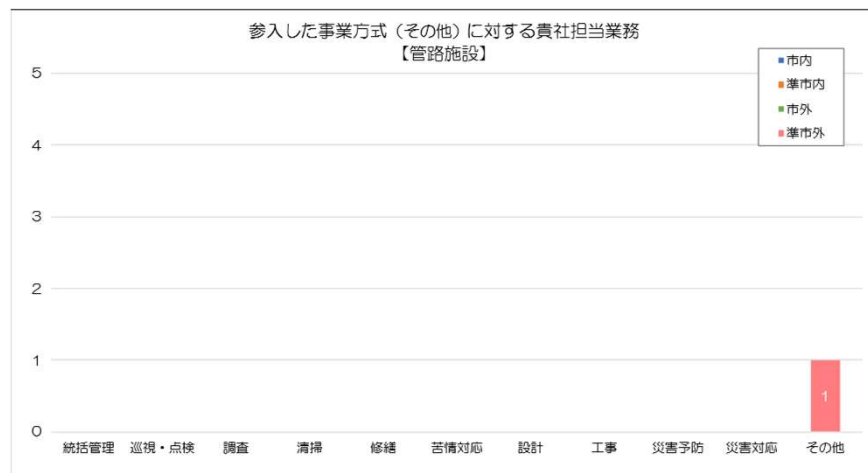
アンケート回答

参入した事業方式（包括的民間委託）に対する貴社担当業務



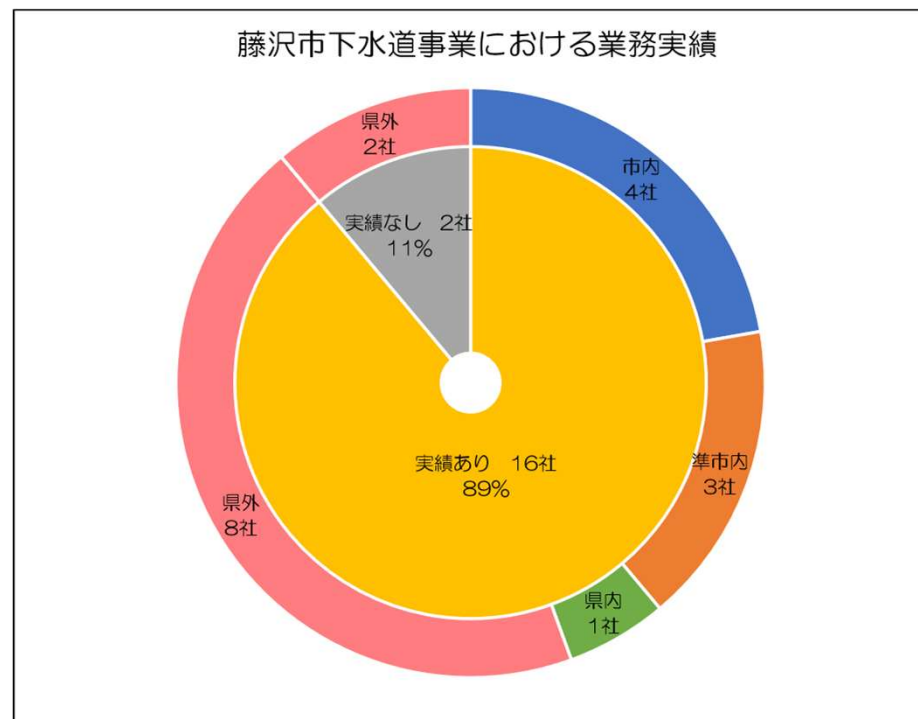
アンケート回答

参入した事業方式（その他）に対する貴社担当業務



アンケート回答

藤沢市下水道事業における業務実績



【18/18社の回答】

【結果】

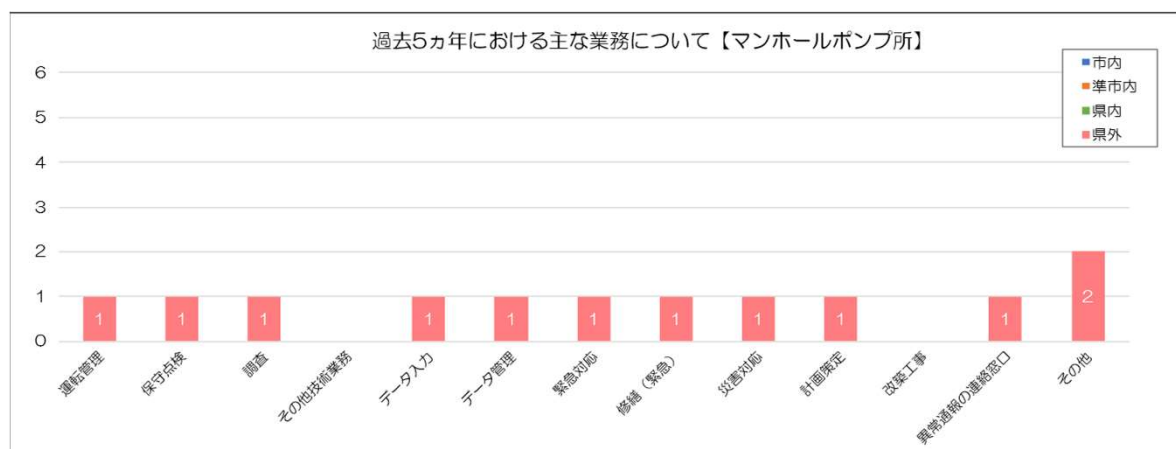
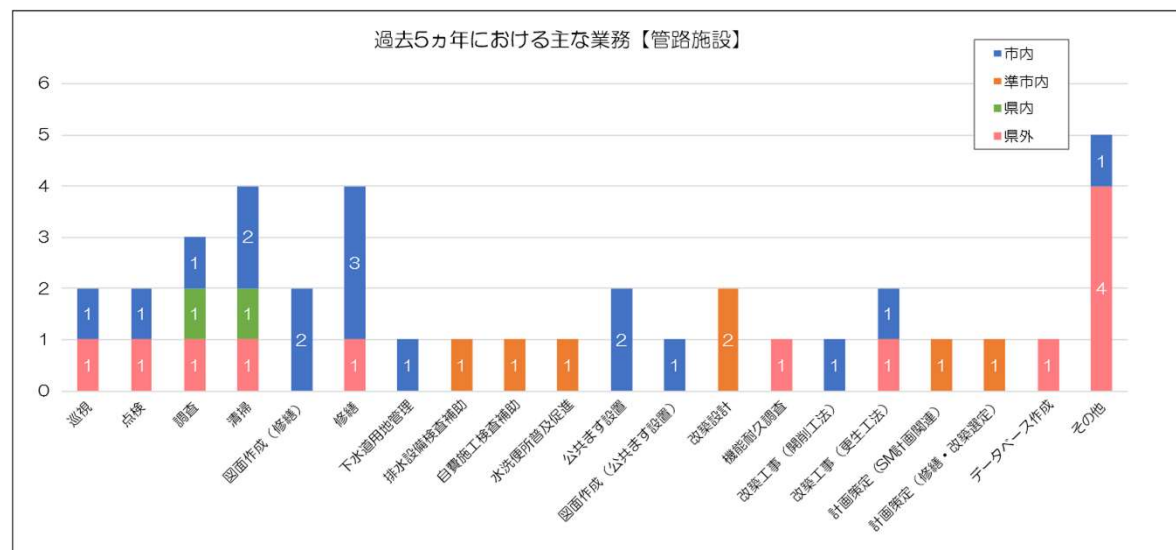
藤沢市下水道事業における業務実績については、16/18社（89％）から「実績あり」と回答があり、2/18社（11％）から「協力企業」と回答があった。



アンケート回答

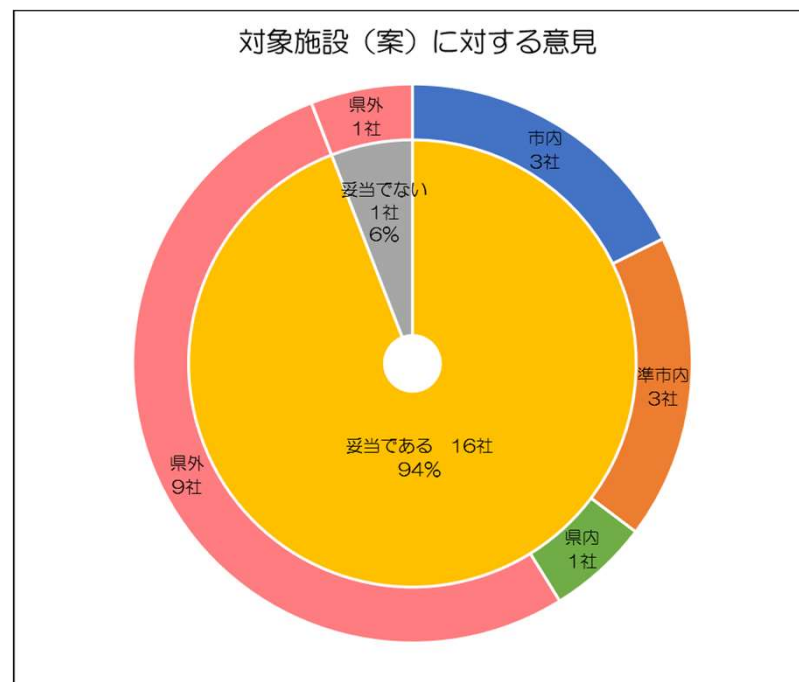
過去5カ年における主な業務

※複数回答はそのまま計上した



アンケート回答

対象施設（案）に対する意見



【17/17社の回答】

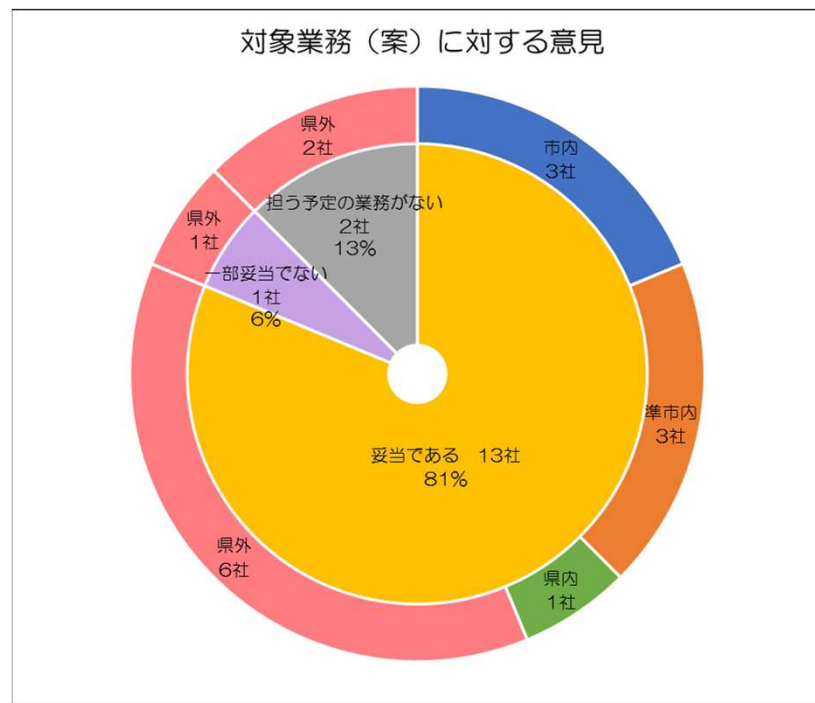
【結果】

対象施設（案）に対する意見については、16/17社（94%）から「妥当である」と回答があり、1/17社（6%）から「妥当でない」と回答があった。



アンケート回答

対象業務（案）に対する意見



【16/16社の回答】

【結果】

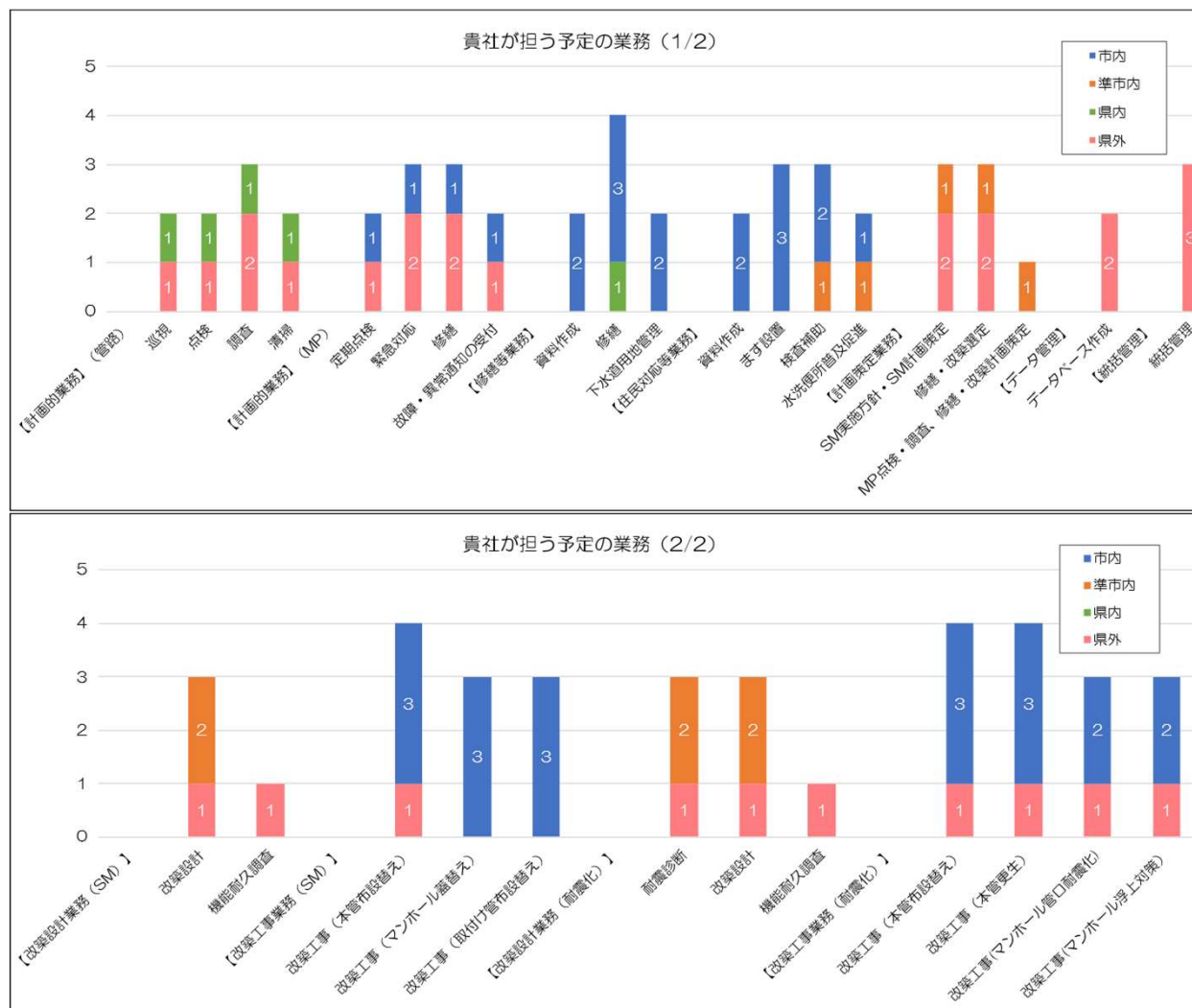
対象業務（案）に対する意見については、13/16社（81%）から「妥当である」と回答があり、2/16社（13%）から「担う予定の業務がない」と回答があり、1/16社（6%）から「一部妥当でない」と回答があった。



アンケート回答

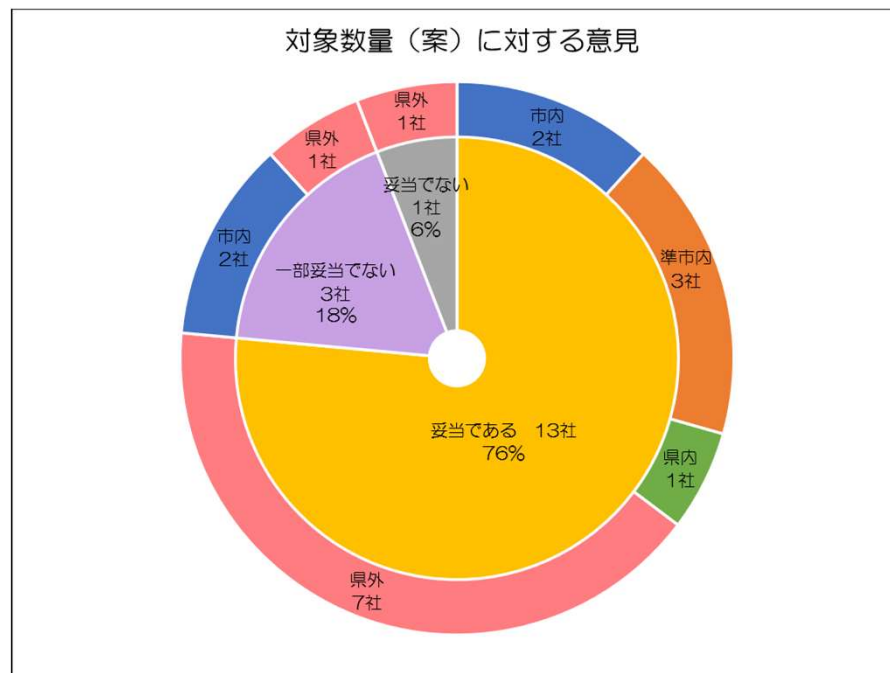
貴社が担う予定の業務

※複数回答はそのまま計上した



アンケート回答

対象数量（案）に対する意見



※複数回答の場合も、
それぞれに計上した

【17/16社の回答】

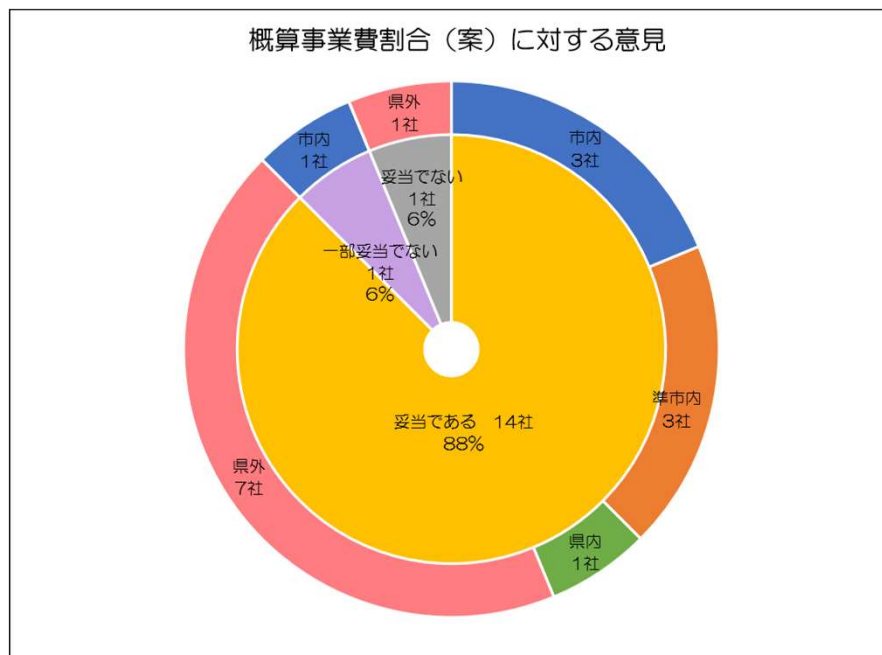
【結果】

対象数量（案）に対する意見については、13/17回答（76%）から「妥当である」と回答があり、3/17回答（18%）から「一部妥当でない」と回答があり、1/17回答（6%）から「妥当でない」と回答があった。



アンケート回答

概算事業費割合（案）に対する意見



※複数回答の場合も、
それぞれに計上した

【16/15社の回答】

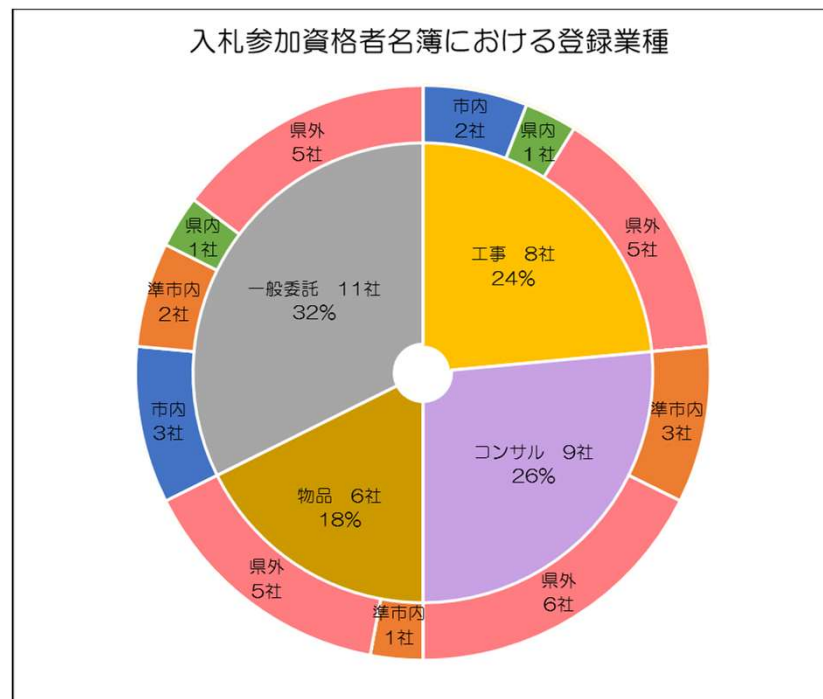
【結果】

概算事業費割合（案）に対する意見については、14/16社（88%）から「妥当である」と回答があり、1/16社（6%）から「一部妥当でない」と回答があり、1/16社（6%）から「妥当でない」と回答があった。



アンケート回答

入札参加資格者名簿における登録業種



※複数回答の場合も、
それぞれに計上した

【34/18社の回答】

【結果】

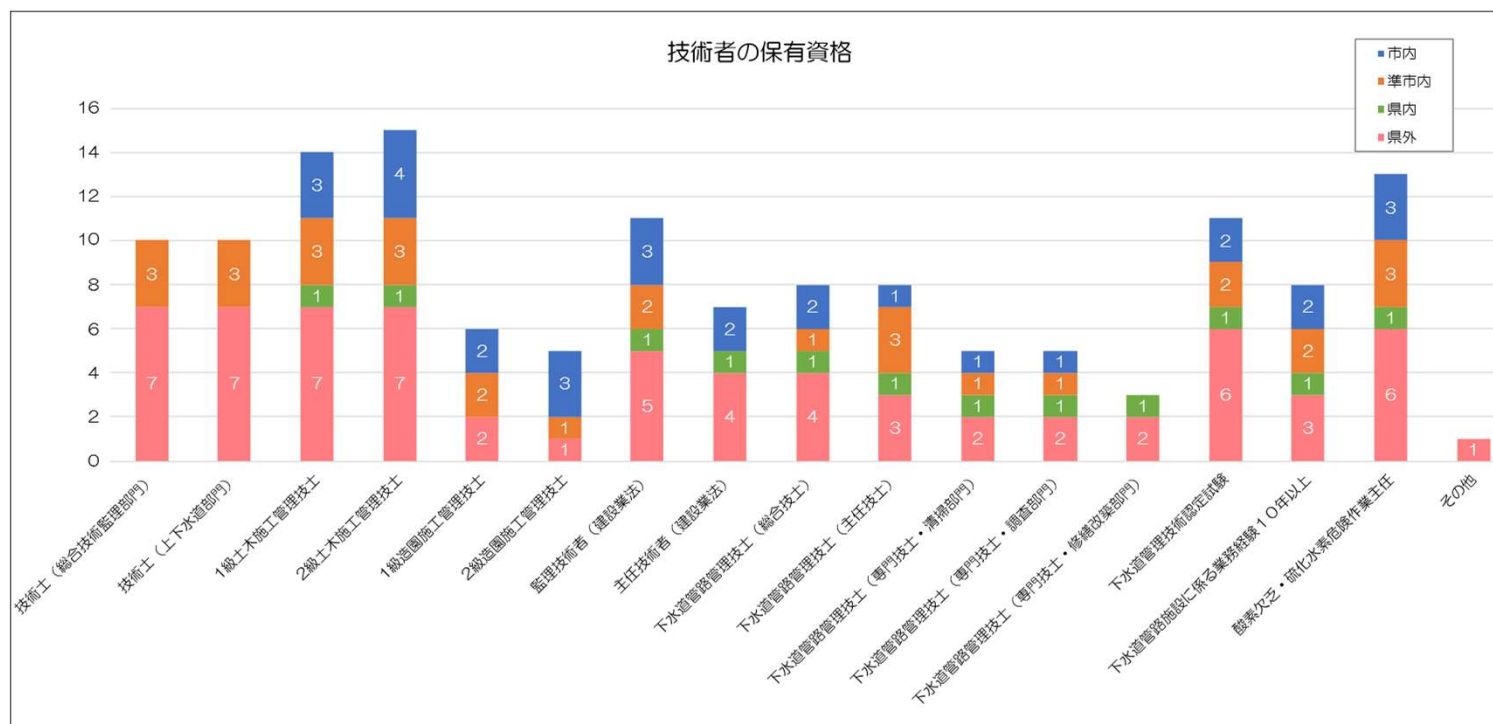
入札参加資格者名簿における登録業種については、11/34回答（32%）から「一般委託」と回答があり、9/34回答（26%）から「コンサル」と回答があり、8/34回答（24%）から「工事」と回答があり、6/34回答（18%）から「物品」と回答があった。



アンケート回答

技術者の保有資格

※複数回答の場合も、それぞれに計上した



【18社の回答】

【結果】

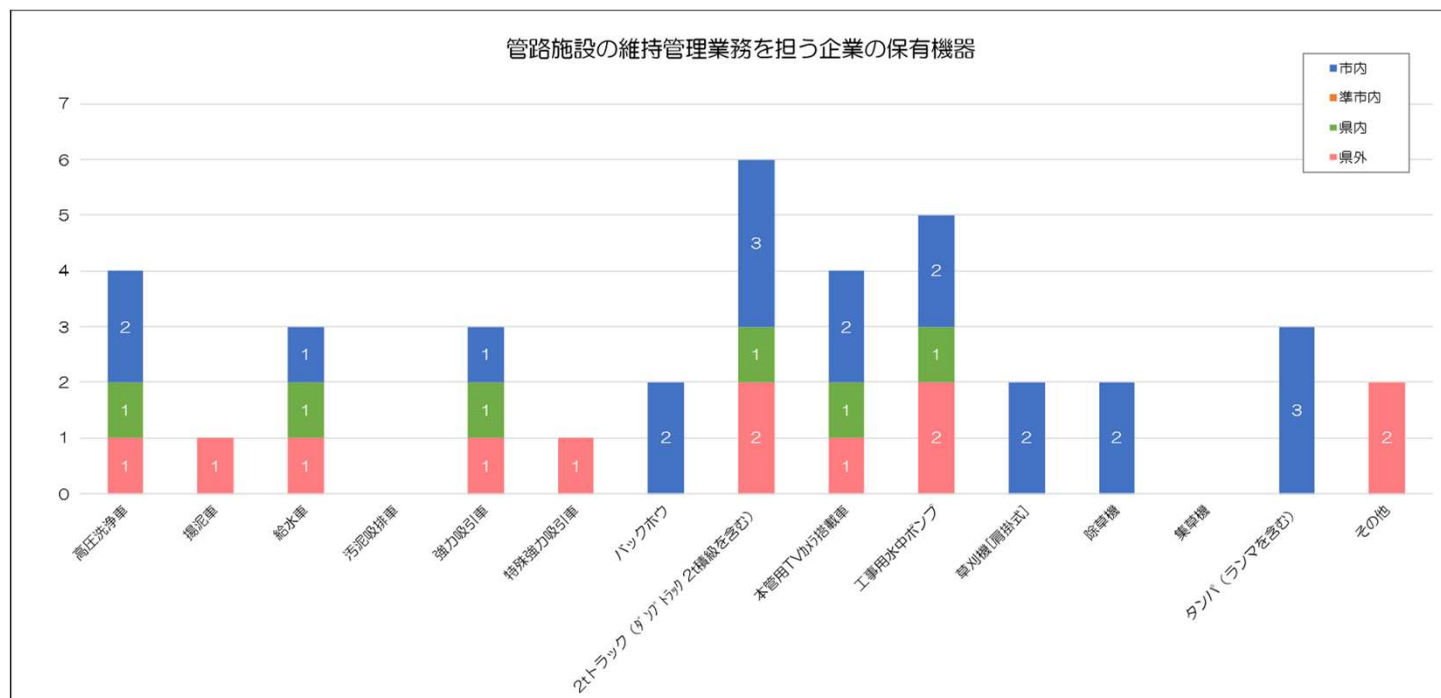
技術者の保有資格については、全ての資格に保有者がいる結果となった。



アンケート回答

管路施設の維持管理業務を担う企業の保有機器

※複数回答の場合も、それぞれに計上した



【7社の回答】

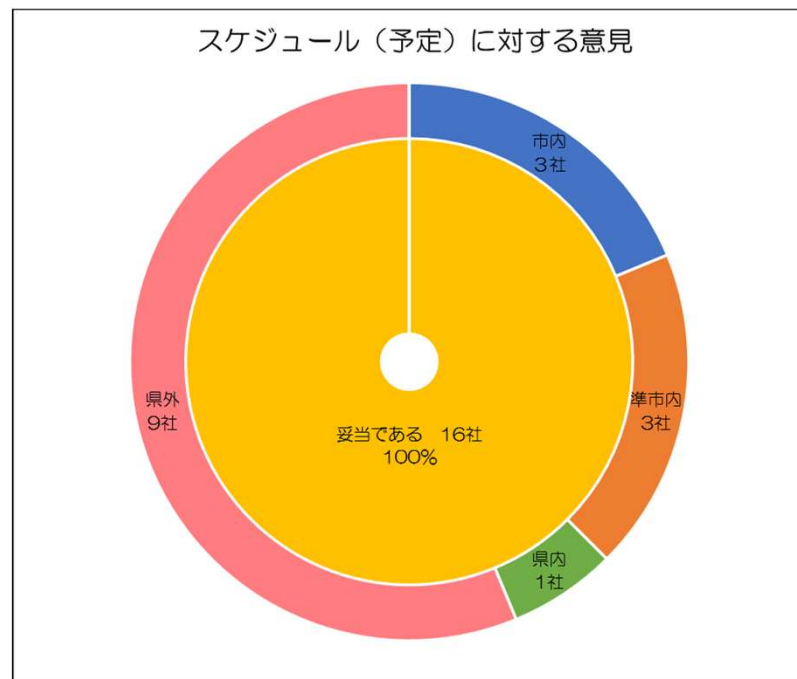
【結果】

管路施設の維持管理業務を担う企業の保有機器については、管路施設の維持管理業務を担う企業（7社）全てが、「汚泥吸排車」及び「集草機」を除いたいずれかの機器を保有している結果となった。



アンケート回答

スケジュール（予定）に対する意見



【16/16社の回答】

【結果】

スケジュール（予定）に対する意見についてはアンケートに回答した全ての企業が「妥当である」と回答した。

「妥当でない」と回答した企業はなかった。



アンケートの質問・意見等への回答

Q1. 物価変動によるリスク分担についてどのように考えていますか。

A1. 委託者及び受託者双方が不利にならないように、インフレスライド条項等を契約書等に盛り込むことを想定しています。

Q2. 異常気象や突発的な設備の故障などの長期に渡るリスク分担についてはどのように考えていますか。

A2. 自然災害や受託者側の帰責がない場合の設備故障については、不可抗力の取扱いや役割分担の考え方を契約条件の中で明確化し、民間事業者に過度な負担が生じないように配慮し検討します。

Q3. 性能発注の範囲についてはどのようにお考えでしょうか。

A3. 性能発注の範囲については、委託者と受託者との協議により決定することを想定しているため、現段階では具体的な範囲は決めていません。



アンケートの質問・意見等への回答

Q4. 更新実施型を採用する理由について教えてください。

A4. 道路陥没のリスクが高いSランク※を調査で確認した場合、速やかに改築工事を実施しなければならない場合もあるため、実施体制の確保や迅速な対応の効果を狙い、更新実施型を採用する予定です。

※Sランクとは（説明会資料P.36より）

テレビカメラ等の調査により破損等が確認され、その破損の管まわりに空洞が確認されたものを、Sランクと市独自に呼んでいます。

Sランクが1スパンに複数箇所確認され、スパン全体の入れ替えが必要と判断した場合は、改築工事の対象とします。

Q5. スtockマネジメント計画に基づく改築工事も対象業務へ含めることも検討されていますか。

A5. 道路陥没のリスクが高いSランク箇所の本管・取付け管や交換が必要となるマンホール蓋の改築工事を含めていますが、それ以外の計画的に行う改築工事については、地元建設会社への工事受注機会の確保や、市職員の技術力の低下を防ぐことを目的として、個別に発注する予定です。



アンケートの質問・意見等への回答

Q6. マンホール蓋の改築工事の対象となる箇所は、どのような箇所を想定していますか。

A6. スtockマネジメント計画に伴う調査結果に基づき改築が必要となった箇所や、調査対象箇所の蓋の開閉ができない箇所等について、蓋交換を行うことを想定しています。

Q7. 会計検査の対応補助が含まれていますが、具体的な業務の範囲や対応内容について教えてください。

A7. 会計検査の対応補助として、ストックマネジメント計画に基づく管路施設の調査及び改築設計業務、耐震化の改築設計及び改築工事業務を想定しています。また、対応内容は、検査受験に必要な資料作成や検査当日の待機、現場検査の補助等を想定しています。

Q8. 藤沢市では更新実施型を前提として検討を進めておりますが、SPCの設立を前提としてPFI法に則った進め方をご検討されているのでしょうか。

A8. 更新実施型を前提に検討を行っておりますが、SPCの設立を前提条件としてPFI法に基づく事業方式に限定した検討は行っておりません。事業スキームについては、事業の特性やリスク分担、民間事業者の参画しやすさ等を踏まえ、最適な方式を検討していきます。



アンケートの質問・意見等への回答

Q9. 今後、藤沢市が計画する各種PPP事業等への代表企業、構成企業、協力企業としての重複参加は可能ですか。

A9. 今後藤沢市において実施が想定される他のPPP事業への参加について、代表企業、構成企業または協力企業としての重複参加を一律に制限することは想定していません。

Q10. 再委託の範囲について教えてください。

A10. 再委託の範囲については、再委託の申請により受託者側から再委託の範囲が示され、その申請に基づき可否を判断するため、委託者側で再委託の範囲を設定するものではありません。再委託は、一部でかつ業務の主要な部分を除き、承認できる規定となっています。



最後に

マーケットサウンディング説明会のアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

ご回答いただいたアンケートの結果をとりまとめたましたので、報告させていただきます。

アンケートの結果やいただいたご意見については、ウォーターPPPの事業実施に向け、参考とさせていただきます。

民間企業の皆さまにおかれましては、今後ともご協力の程よろしくお願いいたします。

